

新潟歯学会報告

令和7年度 新潟歯学会第二回例会報告

令和7年度新潟歯学会集会幹事

予防歯科

竹原祥子

令和7年11月8日(土)に第二回例会を、歯学部講堂にて開催し、合計107名の会員の先生方にご参加頂きました。留学生による英語4演題を含む一般口演14演題の発表が行われました。テーマは基礎研究から臨床研究、疫学研究など幅広い領域に及び、専門外の内容を知る良い機会になったものと考えております。今回の第二回例会の特徴として、学位研究以外の発表がいくつか見受けられた点が挙げられます。本学大学院生の向学心と研究に対する積極的な姿勢がうかがえました。

一般演題の発表に続いて、丹原惇先生(歯科矯正学講座)による「歯科矯正学の現在地 一変わっていくものと変わらないもの」と題した教授就任講演が行われました。何かを極めるためにはまずは土台となる基本的な考え方および技術が必要となる一方、基本だけに固執して、新しい潮流を取り入れなければ、発見や進歩には至らないという点についてご説明があり、新技術をいかに適切に取り込むかが重要であることが示唆されま

した。さらに、歯科矯正分野が「不易流行」を理念に掲げていることが紹介され、どの分野にも共通する普遍的な内容として、深い示唆に富むご講演でした。

さて、当分野が新潟歯学会集会担当を拝命してからまもなく2年を迎えます。歴史ある新潟歯学会の名を損なうことがないように、運営に鋭意努めて参りました。新潟歯学会総会および例会において座長をご快諾くださった先生方に、改めて心より御礼を申し上げます。また、来年度より歯学会プログラムは電子化へ移行し、紙媒体でのプログラム配布は廃止となります。近年、多くの学術集会では環境負荷の軽減に加えて、情報更新の迅速化や閲覧時の利便性向上を目的として、プログラム電子化に移行しつつあります。本学会においても、このような時代的潮流を踏まえ、より効率的でアクセスしやすい情報提供体制を整備するため、電子プログラムへの移行を決定した次第です。



会場の様子



第二回例会 教授就任講演 丹原惇先生

来年度は第59回新潟歯学会総会を4月25日（土）、第一回例会を7月11日（土）、第二回例会を11月7日（土）に開催予定です。詳細は新潟歯

学会ホームページをご覧ください（<https://sksp.jp/nds/index.jsp>）。

